

たかまつ市議会 レポート

REPORT

平成29(2017)年4月15日発行(第180号)

● 高松市議会ホームページ ●

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/655.html>

高松市屋島競技場(屋島レクザムフィールド)

再整備が進められていた高松市屋島競技場(愛称:屋島レクザムフィールド)が、陸上競技の四国大会等が開催可能な「第2種公認陸上競技場」として、4月23日にオープンします。

この競技場は、棒高跳びの公認競技が可能な室内競技場を、全国ではじめて併設したほか、敷地内に、利用者が体力に応じてコースを選択できるよう、距離の異なる複数のジョギングコースを設定するなど、市民の健康づくりに資する、地域に根差したスポーツの拠点として整備されています。



平成29年
3月定例会

春号

目次

- 代表質問 …… 2~4
- 質疑ほか …… 5~7
- 情報BOX …… 8

定例会の日程

- 3月2日 開会、委員長報告・討論・採決、提案説明、閉会中継続調査の報告、特別委員会の経過報告
- 7・8日 代表質問
- 9・10日 質疑
- 13日 質疑、特別委員会審査
- 14・15・16・17日 常任委員会審査
- 22日 委員長報告・討論・採決、追加議案提案説明、委員会審査
- 23日 追加議案委員長報告・採決、閉会

今定例会で決まった主要内容

〔市長提出議案〕

平成29年第1回高松市議会定例会は、3月2日から3月23日までの22日間の日程で開かれました。
今定例会では、平成29年度一般会計予算など49議案を可決、継続審査としていた議員提出議案2件を否決しました。また、陳情4件のうち、1件を採択、2件を不採択、1件をみなす不採択としたほか、人事案件4件に同意しました。

●平成29年度当初予算

- ▽一般会計 1637億5000万円
- ▽特別会計 1132億695万6000円
- ▽企業会計 534億568万5000円

●平成28年度補正予算

- ▽一般会計 11億9877万3000円の増額
- ▽特別会計 11億541万8000円の減額
- ▽企業会計 2億3758万4000円の減額

●条例

- ▽配偶者同行休業制度を導入することにより、職員の継続的な勤務を促進するための条例制定
- ▽市民病院の診療科目に神経内科を新設することに伴う条例改正
- ▽一般廃棄物処理実施計画に基づく事業系一般廃棄物の処分について、本市が担う役割を明確にするための条例改正
- ▽建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の施行に伴い、建築物エネルギー消費性能適合性判定等に係る手数料を新設するための条例改正

●その他

- ▽庵治太鼓の鼻オートキャンプ場の管理を行わせる指定管理者を指定したほか、2件の指定管理者を指定

代表質問

各会派を代表して、鎌田基志（自民党）・三笠輝彦（同志会）・竹内俊彦（公明党）・吉峰幸夫（共産党）の4人の議員が質問しました。

質問の主な内容

鎌田基志議員（自民党）
政治姿勢、行財政、まちづくり、観光振興、農業振興、次期高齢者保健福祉計画の策定など

三笠輝彦議員（同志会）
政治姿勢、財政、平成29年度組織機構の見直し、まちづくり、四国への新幹線の導入、MICE振興など

竹内俊彦議員（公明党）
政治姿勢、屋島の活性化、サンポート地区のMICEの活用、ゆめづくり推進事業の見直し、財政運営など

吉峰幸夫議員（共産党）
2017年度当初予算、高松市職員の定員管理計画（第5次）案、非常勤嘱託職員の待遇改善など

政治姿勢

今後、市民が生き生きと暮らせる持続可能なまちとなるよう、全力を傾注する

質問

大西市長は、平成19年に本市の市長に初当選して以来、マニフェストで掲げた政策を着実に実行し、多くの市民から評価を得ているが、この10年間をどのように総括しているのか。
【議員会】

【答】 これまで、本市の政策課題への対応は、おおむね順調な進捗が図られていると考えている。

今後、それぞれの政策分野における実効ある対応を図ることにより、本市が30年後、50年後においても市民が生き生きと暮らせる持続可能なまちとなるよう、全力を傾注していく。

移住促進に向けた施策を強化することで、多くの人を呼び込めるよう取り組む

質問

アンケートの結果、本市に住みたいと思う人の割合は少なくないが、本市が若者から選ばれ、大都市圏からも人を呼び込めるようにするために、どのような施策に取り組むのか。
【同志会】

若い人たちが地元高松に住み、働いてもらえるような取り組みを講じていかななくてはならないが、若者への住・職などの生活支援を含め、今後、どのように取り組むのか。
【市議員】



【答】 「生活のしやすさ」など、本市で暮らすことの優位性を発信していくほか、実際の移住時における不安等に対応するため、移住経験者をリーダーとする「たかまつ移住応援隊（仮称）」を新たに設置し、移住体験ツアーを実施するなど、移住促進に向けた施策を強化することにより、多くの人を呼び込むよう、鋭意、取り組む。

行財政

本市非常勤職員の待遇

県や他都市の動向も注視しながら、可能なものから改善を図る

【質問】 本市で雇用する非常勤嘱託職員の

実態は、一般の常勤職員と変わらないことから、福利厚生など、正規職員と同等な待遇への改善に早急に着手する考えは。
【市議員】

【答】 本市の非常勤職員への待遇については、社会情勢の変化や職場の実態等を踏まえ、子の看護休暇の新設などの改善を図ってきたほか、平成29年度にがん検診の助成を行う予定としており、今後も、県や他都市の動向も注視しながら、可能なものから、適宜改善を図っていく。

まちづくり

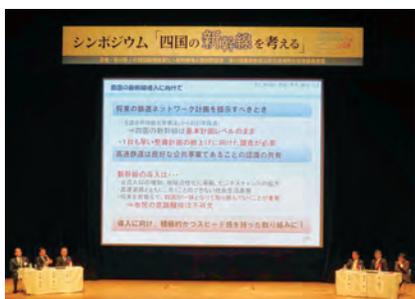
四国への新幹線導入

機運の醸成に努めるとともに、経済団体等と連携して働きかけをさらに強める

【質問】 新幹線は、交流人口の拡大や観光の活性化など、本市をさらに発展に導くと思われるが、四国への新幹線実現を目指し、市長みずから積極的に取り組む考えは。
【議員会】

今後、四国が自立的・持続的に発展していくために、新幹線導入に向け、基本計画から整備計画に格上げできるように、国に積極的に働きかける考えは。
【同志会】

【答】 四国の実情を踏まえ、1日も早い整備計画の格上げに向けた、調査・研究の着手が必要であることから、「香川県J-R四国線複線電化・新幹線導入期成同盟会」等を推進母体として、引き続き、機運の醸成に努める。あわせて、これまで以上に、経済団体や他の自治体等と連携を密にしながら、国政レベルでの動きを前進・拡大させることができよう、働きかけをさらに強める。



「四国の新幹線を考える」シンポジウム

ゆめづくり推進事業の統合
地域課題を解決するための中・長期的な取り組みを促すことなどを狙いとす

【質問】 地域コミュニティの活動の活性化と組織の基盤強化を目的とした、ゆめづくり推進事業が、平成29年度から、地域

まちづくり交付金と統合されることになったが、その狙いは。

【公明党】

地域課題を解決す

るため、地域コミュニティ協議会の中・長期的な取り組みを促すとともに、自主財源を調達する力を高めることなどを狙いとしており、今後も、この見直しがお協議会における自主的・主体的な地域課題解決に向けた継続的な取り組みとなり、地域活動のさらなる活性化につながるよう、適切な支援に努める。

競輪事業

さまざまな角度から将来像について議論するため、検討会を立ち上げる

質問

高松競輪場の一部施設について、震度6強以上の揺れで倒壊または崩壊の危険性があるとされ、早急な耐震改修の必要があるが、厳しい運営状況の中、その必要性も含め、競輪事業の将来像を検討する考えは。

【自民党】

本市競輪事業の経営状況は、将来にわたっての見通しが不透明であり、さまざまな角度から将来像について議論する必要があることから、平成29年度、有識者等による検討会を立ち上げ、施設改修に

ついても、この検討の中で早期に方針を定める。



高松競輪場

市道路面下の陥没対策

空洞調査や道路パトロールなどを行い、安全で安心な市道の適切な管理に努める

質問

昨年11月、JR博多駅前で大規模な道路陥没事故が発生したが、今後、本市においても市道路面下の陥没対策に計画的・効率的に取り組み考えは。

【公明党】

重要な幹線道路に

おいては、舗装修繕工事を行う際に、事前に空洞調査を行い、異常が発見された箇所について、その工事の中で迅速に対応する。その他の道路については、定期的な道路パトロールや市民からの情報提供等も活用しながら、今後とも、安

全で安心して通行できる市道の適切な管理に努める。



産業・観光

新屋島水族館

市が主体となり、屋島山上での存続とリニューアルについて検討していく

質問

屋島山上の新屋島水族館について、運営事業者から「今後も山上で営業したいが、それには行政の支援が必要」との申し出があったが、同水族館存続の考えは。

【自民党】

屋島山上には、に

ぎわい創出のための集客施設が不可欠であることなどから、水族館の存続及びリニューアルが必要と考えており、平成29年度、国の支援も活用し、市が主体となつて、運営事業者の全面的な協力のもと、その存続と、PFI事業などの官民連携によるリニューアルについて、具体的な手法を検討する。

台湾の基隆市と、相互の理解と交流を深めるための協定を締結する

質問

台湾の基隆市を、昨年2月に我が自

同市の林市長が本市を訪れるなど、両市の交流が深まり、機も熟していると思いが、交流協定を締結する考えは。

【自民党】

同市との交流は、

本市のイメージアップや観光の振興を図る上で大いに有益であることから相互の理解と交流を深めることを目的とした協定を締結し、さらなる交流の発展を図っていく。

なお、本年5月初旬に、本市において協定締結の調印式を開催できるよう、準備を進める。

容積率緩和制度を活用し、民間事業者が行う宿泊施設の整備を積極的に促進する

質問

来年、本市において、日本パラ陸上競技選手権大会が開催されることから、多くの方が本市を訪れることに備え、ホテル容積率の緩和による宿泊施設の整備を促進する考えは。

【同志会】

本市としては、観

光客等の受け入れ体制の強化が必要であると考えており、宿泊施設の整備については、容積率緩和制度が、民間事業者にとつて比較的柔軟な取り組みができ、良好な整備につながることから、今後とも、同制

度の活用を図ることにより、民間事業者が行う宿泊施設の整備を積極的に促進する。

アイドルグループSTU48

MICE振興や観光振興に向けた取り組みにおける活用について検討する

質問

今年の夏に、瀬戸内海に面する7県を拠点とし、主要な港で公演を行うアイドルグループ「STU48」が発足することだが、同グループを活用し、本市への誘客を促進する考えは。

【同志会】

同グループが、高松港での船上ライブなどの活動を行えば、本市のブランドイメージの一層の向上につながることから、今後、その活動内容等十分に聞いた上で、本市のMICE振興や観光振興に向けた取り組みにおける活用について検討する。



オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致等の効果的な取り組みに努める

【質問】

本市では、平成30年に日本パラ陸上競技選手権大会が、また、本年から3年連続で中国・四国パラ陸上競技大会が開催されるが、東京オリンピック・パラリンピックに向け、これらの大会の開催をどう生かすのか。【公明党】

【答弁】

これは、本市の知名度向上などの絶好の機会であることから、オリンピック・パラリンピックに向けての機運を一層高め、市民のスポーツへの参加を促すとともに、事前合宿の誘致についても、この開催経験を生かし、今後、さらなる効果的な取り組みに努める。

6次産業化の促進により、「創造性豊かで持続可能な農業の実現」に取り組む

【質問】

農業の6次産業化は、新たな付加価値による所得向上や収益改善のほか、農業の持続的発展による地域の活性化につながることを期待されているが、今後、本市農業の6次産業化の促進に、どう取り組むのか。【自民党】

【答弁】

平成29年度から創設する「高松産ごじまん品6次産業化等支援事業」を生かして、取り組みの裾野を広げるとともに、

県などと協力し、6次産業化の促進に努めることにより、農業者の所得向上や経営の安定による「創造性豊かで持続可能な農業の実現」に取り組む。



福祉

子供の貧困対策計画を策定する中で、子供食堂への対応を検討する

【質問】

貧困家庭や孤食の子供に、温かくバランスのとれた食事を提供するために始まった子供食堂は、地域の人が集え、つながる場所となり得るものだが、行政として支援を行う考えは。【同志会】

【答弁】

昨年、県が実施した「香川県子ども未来応援アンケート調査」の結果を分析するとともに、平成28年度末に県が策定する新たな貧困対策計画を見据えながら、29年度、子供の貧困対策計画を策定することとしており、この中で、子供食堂への対応を検討する。



がん検診の受診率向上や、がん患者の就労支援に取り組む

【質問】

昨年、企業が、がん患者の雇用継続への配慮に努めることや、国や地方公共団体にがん教育の推進を求めた、がん対策基本法の改正法が成立したが、本市における今後の取り組みは。【福生会】

【答弁】

がん検診の受診率向上について、胃がんの個別検診の対象年齢を拡充するほか、がん患者の就労支援について、治療と職業生活の両立支援研修の啓発を行うとともに、今後、全国健康保険協会香川支部と、がん患者の就労継続支援や、がんに関する教育の実施に向けて協議していく。



教育

各学校の体力向上プランの見直しなどにより、児童生徒の体力向上に努める

【質問】

2016年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果では、県内の児童生徒の成績が全国平均を下回る状況が続いていることから、子供たちの体力向上に向けた取り組みが行われるべきだが、今

後の対策は。【自民党】
子供の体力向上には、学校現場への期待が大きく、県教育委員会も、子供たちが積極的に運動したくなる取り組みを強化するとしているが、本市として、いかに取り組むのか。【公明党】



子供の体力向上に向けた取り組み

【答弁】

現在、各学校が取り組んでいる体力向上プランを課題に応じて見直すよう指導するとともに、体育の授業の充実を図る。また、望ましい生活習慣の形成について、保健だよりで取り上げるなど、家庭との連携がより一層図られるよう各学校を指導し、児童生徒の体力向上に努める。

高松型学校・地域連携システム(仮称)

構築により、地域とともにある学校づくりを目指す

【質問】

高松型学校・地域連携システム(仮称)の構築により、学校と地域が連携し、児童生

徒の多様な学びを保障するとともに、文化活動等において地域に貢献できる学校を目指すとしているが、今後の取り組みは。【公明党】

【答弁】

平成28年度に行った実践研究では、さまざまな成果が報告されていることから、今後、多くの学校で同システムを構築し、地域の関係者が集まって意見交換等を行い、児童生徒の教育活動の充実を図ることで、より一層、地域とともにある学校づくりを目指す。

新入学児童生徒学用品費等について、入学前の3月に支給できるようにする

【質問】

就学援助制度の一環で、小中学校の入学時に支給される新入学児童生徒学用品費等について、支給時期を入学前に前倒しする自治体が約80市区町村あるが、本市でも前倒しする考えは。【福生会】

【答弁】

新入学児童生徒学用品費等については、制度の趣旨に鑑みると、可能な限り速やかに支給する必要があり、平成30年度新入学予定の中学生から、現に小学校6年生で就学援助を受けている児童については、入学前の3月に支給できるよう実施する。

市政のさまざまな課題について、12人の議員が質疑しました。

JR端岡駅周辺整備事業の駅南側における今後の取り組みは
森川輝男議員（詔紙鏡）

質疑 JR端岡駅南側の駅前広場やアクセス道路の整備を望んでおり、同駅の乗降客数をふやすためにも駅南側からの利便性を向上させる必要があるが、同駅周辺整備事業の駅南側における今後の取り組みは。

答弁 同駅南側については、整備の進捗が図られている状況が続いていることから、まずは、地域の代表者から成る協議会と、アクセス道路等の整備が図られる方策について協議する場を設け、これを事業推進に向けた契機とする。

【他の質疑▼働き方改革、益裁振興など】



地域高規格道路中間区の開通に合わせた高松空港までの暫定ルートの整備は
辻 正雄議員（同志会）

質疑 中心市街地から30分という近距離にある高松空港は、大きな観光資源であり、最大限生かすべきだが、地域高規格道路中間区の開通に合わせた、同空港までの暫定ルートの整備は。



答弁 空港利用者の利便性向上のほか、空港へのアクセス強化を図るため、平成29年度末の中間区開通に合わせた暫定ルートの供用を目指し、引き続き、

き、県と連携を密にしなが

ら、道路整備に取り組む。
【他の質疑▼災害時要援護者台帳、都市計画道路など】

循環型社会の実現を目指すため、使用済み小型家電の回収増に取り組む考えは
大山高子議員（公明党）

質疑 東京オリンピック・パラリンピックス競技大会組織委員会が全国展開する「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に参加し、家庭に眠っている使用済み小型家電の回収増に向けて取り組む考えは。



答弁 こうした取り組みは、小型家電をリサイクルする制度の普及や回収率向上を図る上で有意義なため、今後、スポーツなどのイベントを活用した同プロジェクトの周知啓発に努めるとともに、循環型社

会が定着するよう取り組む。
【他の質疑▼がん対策、保育所問題など】

保育所や放課後児童クラブにおける待機児童の解消に向けた決意は
中西俊介議員（神う紙）

質疑 子供を預けられるかどうかは、働く子育て世代や働きたい子育て世代にとって切実な問題であり、生活に直結した重要課題だが、保育所や放課後児童クラブにおける待機児童解消に向けた決意は。



答弁 待機児童の解消は、少子化対策としても極めて重要なため、それに向けた各種施策を積極的に推進するとともに、「高松市子ども・子育て支援推進計画」の見直しにより、必要に応じてさらなる対策を検討し、早期に解消できるように、全力で取り組む。

【他の質疑▼空き家・空き地など】

常磐町商店街へのポートピア設置に関し、反対の意を表明する考えは
岡田まなみ議員（旭産党）

質疑 常磐町商店街へのポートピア設置について、本市がこれを受け入れた場合、さまざまな問題の発生が懸念されることから、反対の意を表明する考えは。

答弁 多くの青少年が往來し、親子連れも多く見られる場所へポートピアを設置することには、多くの課題や懸念がある。

また、地元自治会の同意が条件であることや、周辺自治会からも反対の陳情があることから、現時点で、同意できる状況にない。
【他の質疑▼市長の政治姿勢、市の財政のあり方など】



日本パラ陸上競技選手権大会等の成功に向けた意気込みは

十川信孝議員（詔託院）

質 疑

屋島競技場での選手権大会及び中国・四国パラ陸上競技大会の開催が決まり、選手の競技力向上や、障がい者スポーツに対する理解や啓発などにもつながると考えるが、両大会の成功に向けた意気込みは。

答 弁 スリートファースト

開催に当たり、アの視点に立った大会運営の支援に努めるとともに、本市での障がい者スポーツ推進の大きな契機となり、選手や関係者が来てよかつたと記憶に残る大会となるよう、積極的に準備を進める。【他の質疑▼移住促進施策を強化する考えなど】

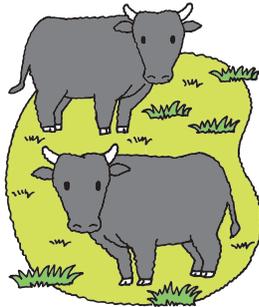


肉用牛肥育農家に対する支援を拡充する考えは

藤原正雄議員（詔託院）

質 疑

本市の畜産農家への補助事業の一つに、優良繁殖雌牛の購入経費の一部補助があるが、畜産業の活性化等のために、補助金の増額等、肉用牛肥育農家に対する支援の拡充を検討する考えは。



答 弁

本市が実施する、優良繁殖雌牛の導入などへの支援は、肉用牛生産の健全な発展や経営の安定、オリーブ牛の振興の観点からも重要であることから、今後、肥育農家の意見も聞きながら、他市町の状況を調査するなど、支援の充実に向けて検討する。【他の質疑▼高齢化社会にかかわる問題、防災など】

交通弱者の生活を、福祉政策としてどのように支えていくのか

田井久留美議員（公明党）

質 疑

交通弱者の捉え方は、家庭や本人の身体の状態など、人それぞれで異なるが、公共交通政策などで進めるインフラで補えない部分の交通弱者の生活を、福祉政策としてどのように支えていくのか。

答 弁

交通弱者に対し、タクシー料金の助成などのほか、地域住民による買い物支援として「新しい総合事業」でのサービス提供などを行っており、今後とも、地域における生活支援サービスの提供体制の拡充に努めるなど、交通弱者等に対する生活支援の充実に向け、鋭意、取り組む。【他の質疑▼地方創生の推進、人材育成など】



移転する中央卸売市場青果棟に事業所内保育所などを整備する考えは

造田正彦議員（蒲うね）

質 疑

朝日町三丁目の日本たばこ産業株式会社原料倉庫跡地が、移転候補地として発表された中央卸売市場青果棟について、施設内に事業所内保育所や食育教育を行う教室などを整備する考えは。



答 弁

再整備基本構想・基本計画において、事業所内保育所の設置や食育の推進について、市場活性化の検討項目として挙げている。今後、施設の整備内容等を具体化していく中で、その整備についても、市場関係者の意見も聞きながら、前向きに検討する。【他の質疑▼児童虐待、障害者差別解消法など】

バス路線の再編に向けて、どのように取り組むのか

白石義人議員（詔託院）

質 疑

地域社会を維持し、活力あるものとするためには、公共交通を基軸とするネットワークを再構築していくことが必要不可欠であるが、バス路線の再編に向け、今後、どのように取り組むのか。

答 弁

平成29年度に、バスとバスの乗り継ぎ割引等の可能性などについて検討するとともに、公共交通空白地域においては、地域住民の、利用者としての主体的な関わりを促しながら、地域での取り組みを支援し、コミュニティ交通の充実・強化に取り組む。【他の質疑▼観光PR、国道11号の渋滞対策など】



答 弁 当面は、現在事業中の路線整備に全力で取り組み、その見通しが立つ段階で、将来交通量をはじめ、都市計画マスタープラン等との関連にも十分留意しつつ、改めて都市計画道路整備プログラムについて検討し、都市計画道路の着実な整備に努める。

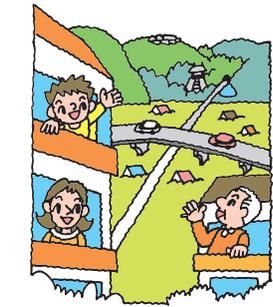
【他の質疑】▼大学連携、保育、市立病院、防災など



質 疑 屋島競技場から国道11号へのアクセスは、以前から渋滞が問題になっており、その緩和のため、同競技場以南の都市計画道路・高松海岸線を早急に整備し開通させる必要があるが、その見通しは。

屋島競技場以南の都市計画道路・高松海岸線の整備の見通しは

坂下巨人議員（自民党）



答 弁 鶴尾地区における地区の実情や課題にも十分留意しながら、平成29年度に策定予定の立地適正化計画において、種々の施策を講じることにより、長期的に穏やかな居住等の誘導を図っていくとともに、歴史・文化などの地域の資源を生かしたまちづくりに、鋭意、努める。

【他の質疑】▼シンガポールの都市づくりなど

質 疑 鶴尾地区が本市の歴史・文化の中心であるとともに、都市機能の集積地であり、旧市の中心地区にあつたことを考慮した、今後のまちづくりのあり方は。

鶴尾地区が本市の歴史・文化の中心であることを考慮した今後のまちづくりは

二川浩三議員（自民党）

賛否が分かれた議案等審議結果一覧

今定例会では審議の結果、議案等のうち15件について、採決に当たり次のとおり賛否が分されました。賛否については、賛成の場合は○を、反対の場合は×を表示しております。

件 名	議 決 結 果 等	会派別賛否							
		自民党 議員会	同志会	公明党	市 民 フォーラム21	日 本 共産党	市民派 改革ネット	無所属	
市長提出 議 案	平成29年度高松市一般会計予算	可決	○	○	○	○	×	×	○
	平成29年度高松市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	○
	平成29年度高松市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	○
	平成29年度高松市介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	○
	平成29年度高松市競輪事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	×	○
	平成29年度高松市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	×	×	○
	高松市幼保連携型認定こども園条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	×	○	○
	高松市奥の湯温泉条例の廃止について	可決	○	○	○	○	×	○	○
	高松市塩江湯愛の郷センター条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	×	○	○
	平成28年度高松市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	×	×	○
	平成28年度高松市水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	×	×	○
議員提出 議 案	高松市議員報酬、市長及び副市長の給料等審議会条例の一部改正について	否決	×	×	×	○	○	○	×
	高松市議会政務活動費の交付に関する条例の全部改正について	否決	×	×	×	×	○	○	×
陳 情	平成29年度「給与所得等に係る市町村民税・道府県民税特別徴収税額の決定・変更通知書(特別徴収義務者用)」への個人番号記載の中止を求める陳情	不採択	×	×	×	×	○	○	×
	常磐町商店街へのポートレース場外券発売場の設置に反対を求める陳情	採択	○	×	×	○	○	○	×

(参考)

陳 情	常磐町商店街を改革するための活性化プロジェクトに伴うポートレーススケッチショップ設置の賛同を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×
-----	---	-----	---	---	---	---	---	---	---

※全議案等の審議結果については、市議会ホームページをご覧ください。

委員会の活動など

●調査会

重要な施策などについて、常任委員会ごとに説明を受ける会で、次のとおり開かれました。

総務消防	2月8日	高松市職員の定員管理計画(第5次)(案)について
	2月20日	高松市墓地整備計画(案)(平成29年度～33年度)について
		高松市MICE振興戦略(仮称)(原案)について 屋島ドライブウェイ無料化方針について
	3月17日	平成29年度地方税制改正について
教育民生	2月6日	高松市病院事業経営健全化計画の改定(案)について
	2月17日	香川県・高松市動物愛護センター(仮称)の基本設計(案)について
経済環境	2月6日	次期高松市鳥獣被害防止計画(平成29～31年度)(案)について 塩江温泉郷活性化基本構想(仮称)について
	2月17日	中央卸売市場青果棟移転候補地について
	3月14日	高松市災害廃棄物処理計画の策定について
	3月17日	屋島山上拠点施設基本設計(案)(概要)について

建設水道	3月17日	高松市市営住宅長寿命化計画中間見直しについて
建設水道 ・ 総務消防 (合同)	2月24日	高松市都市計画マスタープランの改定について(地域別構想の改定素案) 高松市立地適正化計画(仮称)素案について

●議会運営委員会

2月22・27日に、12月定例会から継続審査となっている高松市議会政務活動費の交付に関する条例の全部改正について審議するとともに、議会運営の改善等について協議しました。

人事案件

次のとおり選任・推薦に同意しました。

●固定資産評価審査委員会委員(選任)

三木 真由美氏 綾田 正子氏

●人権擁護委員候補者(推薦)

万野 妙子氏 内海 紀久子氏

第2回議会報告会を開催します。

- 開催日時 平成29年4月22日(土) 午前10時30分から
 場所 瓦町FLAG(コトデン瓦町ビル)8階
 市民交流プラザIKÔDE瓦町内 大会議室1・2
 内容 ①これまでの議会改革の取り組み
 ②平成29年3月定例会で議論した各常任・特別委員会での審議状況等の報告
 ③その他(質疑応答)

★どなたでもご参加いただけます。皆様お誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

